

町の家計は心配ありません。

使ったお金



緊急経済対策事業費 best 5



第1位 恐竜博物館 5.8 億円

3年間で31事業

今回の緊急経済対策では、平成24・25年度に、都市再生整備計画事業や43路線の町道改良、カルチャーセンターやスポーツセンターの大規模改修など27事業を完了しました。

また、平成26年度には、御船中学校の空調設置工事や約30路線の町道改良事業など4事業を予定しています。

まちづくり計画書

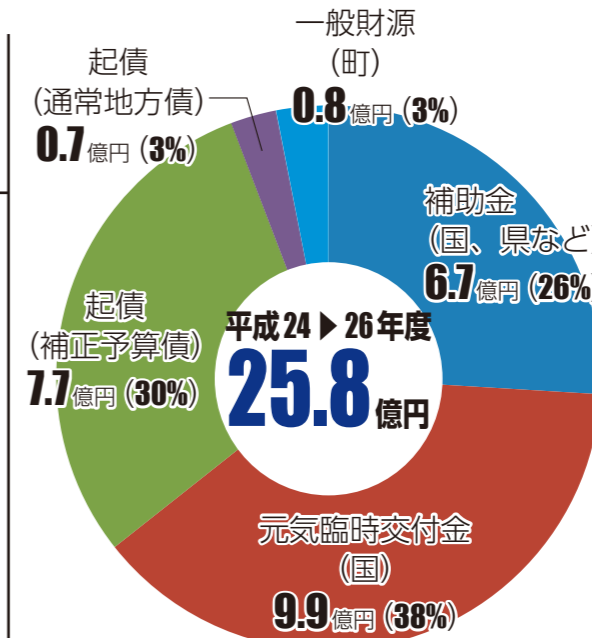
町が行う事業の概要、財源やお金の使い道などを紹介している。平成19年度から町内全世帯に配布されている。



入ってきたお金

94%▶国、県
24.3 億円

●用語解説
▶補助金(国、県など) = 26%
国や県が、特定の事務や事業を補助するために交付するもの。
▶元氣臨時交付金(国) = 38%
事業費の地方負担額の約8割が国から交付される交付金。町の財政力を考慮し御船町は、町負担分の97%が交付された。
▶起債(補正予算債) = 30%
町が国の政策目的のために借りたお金(借金)。返済が必要だが、返済分は毎年、交付税として交付される。



6%▶町
1.5 億円

●用語解説
▶起債(通常地方債) = 3%
国からの借金
▶一般財源(町) = 3%
予算のなかで町が自由に使用できるお金



徹底解説

緊急経済対策事業

24▶26年度 **3年総額 25.8 億円**

交付金を有効活用できました

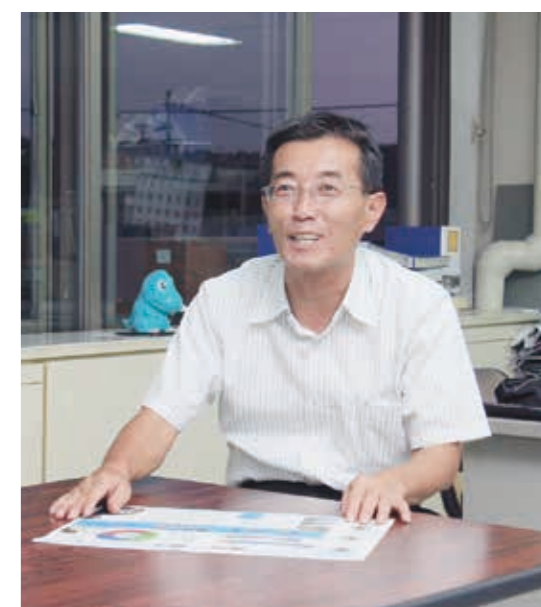
緊急経済対策

国が、地域の経済活性化に対して行う政策の総称。最近では、平成10年度から13回にわたり、経済対策が行われており、今回が14回目。これまでの経済対策は、次年度の予算の前倒しや、事業費の50%の補助に5%を上乗せしたりするもので、残りの45%は町が国から地方債(借金)を借り入れるものでした。

しかし、今回の緊急経済対策は、国が打ち出した事業を行うと、国の補助金以外にも、事業費から補助金を引いた残りの町負担額の70~80%を補助金(元氣臨時交付金)として交付するというものですが、町には財政状況などから負担額

借金は7,300万円

今回の緊急経済対策では、財政面などで先送りしていた事業や2・3年以内に予定していた事業を行いました。総事業費25・8億円のうち、町が国から借りたお金(借金)は8億4,440万円。そのうち、7億7,150万円の起債(借金)は補正予算債を活用しているため、町の実質的な借金は7,300万円となります。



企画財政課財政係 坂本 幸喜 課長補佐